

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
館林市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	青少年の体験活動が不足していることにより、児童が将来の夢や職業観を持つことが難しくなることや、様々なことへ挑戦する意欲が乏しいことが課題としてあげられる。	チャレンジ通学合宿の実施やデイキャンプの実施	様々な体験活動を通して、児童の内面に新しい見方や考え方が芽生える。また、大人とのかかわりを通して同様の効果をもたらすことを狙う。	参加児童の保護者を対象にアンケートを実施し、体験をもとに将来の夢や職業観につながる話題が増えるような取り組みとしていく。	事業実施後の保護者アンケート項目「お子さんは家で学校や放課後子ども教室で体験したことについて話すことが増えましたか。」に「そう思う」と回答した割合	45	%	75	50	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 前年度の数値より5%上がった。地元の高校や企業に協力いただいたことで、今までとは違った体験ができ、数値の上昇に繋がったと考える。 また、目標を下回った要因としては、昨年度よりも実施回数が減ったことが考えられる。限られた回数の中でも充実した体験ができるように、内容を検討していきたい。